



株主の皆様へ

第152期中間報告書

2019年4月1日から9月30日まで



2020年2月5日
おかげさまで創立100周年

エンシュウ株式会社

証券コード 6218

CONTENTS

株主の皆様へ	2
事業の概況	3
中間連結財務諸表	5
トピックス	7
株式の状況	9
会社の概況	10



本社及び高塚工場



浜北工場

経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする

TOP MESSAGE

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当中間連結期間における経済は、米中摩擦の影響等により停滞し、先行きについても不透明感が増しております。そのため設備投資についても国内外において減速し、工作機械業界の受注推移も減速が明らかになっております。

このような情勢の中、当社グループは受注確保に向けアジア地域、北米、欧州、国内における拡販を図るとともに、生産効率化や原価低減などの推進に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、工作機械関連事業部門の増加により13,780百万円(前年同期比2.4%増)となりました。損益につきましては、工作機械関連事業部門において原価低減を徹底したことや効率アップ等の施策を推進した結果、営業利益は1,481百万円(前年同期比80.8%増)、経常利益は1,259百万円(前年同期比92.7%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,089百万円(前年同期比87.5%増)となりました。

配当金につきましては、長年無配の状態が続いておりましたが、2019年3月期末にて、復配することができました。今後につきましては、当面は利益の最大化を図りながら利益剰余金を積み増し、財務体質の強化と安定的な配当を継続していくことを基本的な方針としてまいります。

全社一丸となって基盤構築強化に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月



代表取締役社長 社長執行役員

山下晴央

REVIEW OF OPERATIONS 事業の概況

2019年4月1日から2019年9月30日に至る当社グループ
第152期中間連結期間の事業の概況をご報告申し上げます。

工作機械関連事業部門

日本工作機械工業会の8月の月間受注額が76ヵ月ぶりに900億円を割り込み、その結果、日本工作機械工業会は今年の受注見通しを年初公表の1兆6,000億円から1兆2,500億円に下方修正いたしました。米中貿易摩擦を発端とした景気後退の波は、確実に当業界にも押し寄せてきています。

そのような情勢の中、当社におきましては、現時点では主力のシステム商品により引き続き高い水準の受注残高、引合い残高を維持できており、上期売上高は8,700百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は1,390百万円(前年同期比188.5%増)となりました。一方、欧米を中心とした汎用機の受注高は減少の傾向にあり、9月末の受注残高は14,650百万円(前年同期比25.1%減)となりました。

このような状況の中、先日、新製品となるマシニングセンタ内蔵型の搬送装置「E-Loader」を発表いたしました。これは当社が今までシステム商品の製造で培ってきた自動化技術を汎用のマシニングセンタに織り込んだ商品です。昨今、お客様から自動化に対する要求が高まる中、この商品を武器に販路を広げ、受注高の維持、拡大に努めてまいります。



▲EMO2019

輸送機器関連事業部門

輸送機器関連事業部門におきましては、主に四輪部品の新規取り込みを積極的に行いましたが、主力製品である大型二輪車用部品が減少し、ベトナムでも現地取引先の生産減少が影響し減収となりました。損益面におきましては、生産性向上活動を推進してまいりましたが、減収の影響と経費負担の増加もあり減益となりました。

以上の結果、輸送機器関連事業部門の上期売上高は5,044百万円(前年同期比4.4%減)、営業利益は64百万円(前年同期比79.2%減)となりました。

今後におきましては、国内において営業・技術両面で工作機械関連事業部門と協力し、新規部品の受注に注力し、売り上げ確保に努めてまいります。



▲四輪部品・新規立上ライン



▲生産準備

INTERIM CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）（2019年9月30日現在）

（単位 百万円 百万円未満は切捨て）

項 目	金 額
●資産の部●	
流動資産	18,132
現金及び預金	2,220
受取手形及び売掛金	4,760
電子記録債権	1,261
商品及び製品	2,877
仕掛品	5,122
原材料及び貯蔵品	1,654
その他	241
貸倒引当金	△5
固定資産	13,878
有形固定資産	13,490
建物及び構築物	2,625
機械装置及び運搬具	2,812
土地	7,387
その他	664
無形固定資産	161
のれん	0
その他	160
投資その他の資産	226
その他	228
貸倒引当金	△2
資産合計	32,010

項 目	金 額
●負債の部●	
流動負債	10,468
支払手形及び買掛金	2,649
電子記録債務	1,785
短期借入金	2,080
未払法人税等	123
賞与引当金	461
その他	3,369
固定負債	11,884
長期借入金	6,500
退職給付に係る負債	3,359
役員退職慰労引当金	15
資産除去債務	114
その他	1,894
負債合計	22,352
●純資産の部●	
株主資本	6,663
資本金	4,640
利益剰余金	2,091
自己株式	△69
その他の包括利益累計額	2,994
その他有価証券評価差額金	1
土地再評価差額金	3,666
為替換算調整勘定	209
退職金給付に係る調整累計額	△883
純資産合計	9,657
負債純資産合計	32,010

中間連結損益計算書(要旨) 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

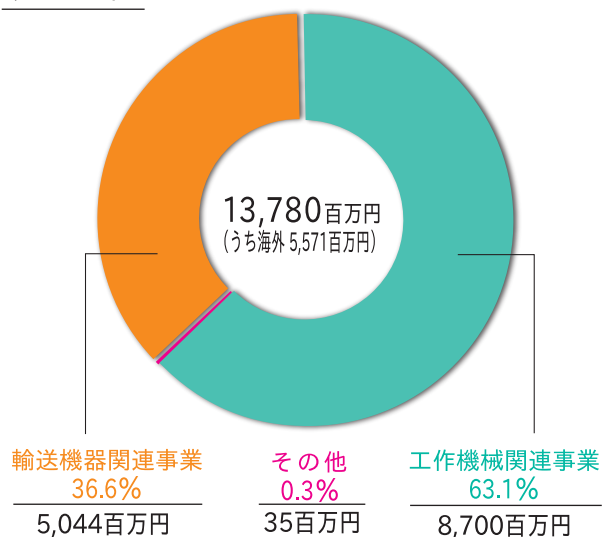
項 目	金 額
売 上 高	13,780
売 上 原 価	10,853
売 上 総 利 益	2,926
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,445
営 業 利 益	1,481
営 業 外 収 益	40
営 業 外 費 用	262
経 常 利 益	1,259
特 別 利 益	0
特 別 損 失	0
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	1,259
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	145
法 人 税 等 調 整 額	24
親会社株主に帰属する中間純利益	1,089

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日

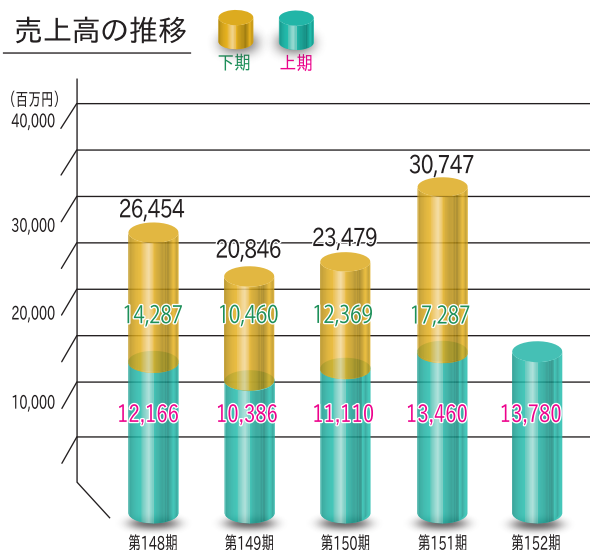
(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	△331
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,595
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,147
現金及び現金同等物の期首残高	4,194
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,047

売 上 高



売上高の推移





工作機械関連事業部門

■ E-Loader

少子高齢化に伴う働き手不足や働き方改革、多種少量生産対応など、機械の省人化ニーズが高まっている中、当社は新製品となるマシニングセンタ内蔵型の搬送装置「E-Loader」を発表いたしました。当社が以前から掲げていた「Easy Automation」を省スペース、低コストで実現できる搬送装置の新提案です。この商品を全世界の拠点で積極的にPRして、拡販につなげてまいります。



■ EMO Hannover 2019に出展

2019年9月16日から21日の6日間、ドイツ・ハノーバーで開催された「EMO Hannover 2019」に出展いたしました。今回当社は主力販売機種であるGE480Hのほか、ピストンオーバル加工機、ピン穴加工機、世界初公開となる自動搬送付きマシニングセンタWE30V+E-Loaderを出展いたしました。また高松機械工業株式会社様のブースでも、同社旋盤と当社製E-Loaderの自動化ラインの展示を行いました。

近年、工場の自動化に対するニーズが高まっており、来場いただいたお客様にもご好評をいただきました。今後ともお客様のご要望にお応えできるよう努めてまいります。



■ MEX金沢2019に出展

2019年5月16日から18日の3日間、金沢で開催された「機械工業見本市(MEX金沢2019)」に出展いたしました。当社はWE30Veとレーザー加工サンプル、パネルを展示いたしました。今後も地元商社との連携を強化し、汎用機の拡販に努めてまいります。



輸送機器関連事業部門



輸送機器関連事業部門は、営業・技術両面で工作機械関連事業部門と協力して、四輪、農機具、EV関連等幅広く営業活動を行い、新規部品を受注し、順次生産準備を進めております。また、生産性向上活動におきましても新規事業・IoT推進室と協力し、主要ラインに「IoT」を導入し、成果を出しております。

引き続き新規顧客の開拓と新規部品の営業活動を、日本、ベトナム両拠点で積極的に行い、売上確保に努めてまいります。また、品質向上と生産性向上活動を通して、更なるお客様満足度の向上と利益創出に取り組んでまいります。

100年企業顕彰にて「日刊工業新聞社賞」を受賞

日刊工業新聞社、100年経営の会が主催する「第4回100年企業顕彰」において、長期に持続的成長を続ける優れた経営や地域社会への貢献が評価され、2019年7月3日に行われた贈賞式において、「日刊工業新聞社賞」を受賞いたしました。大変名誉なことであり、今後もより一層の研鑽に励み、ものづくりを通して、地域社会への貢献に努めてまいります。



株主・株式総数

株主総数	5,673名
発行可能株式総数	15,000,000株
1単元の株式数	100株
発行済株式総数	6,353,454株 (自己株式 46,901株を含む)

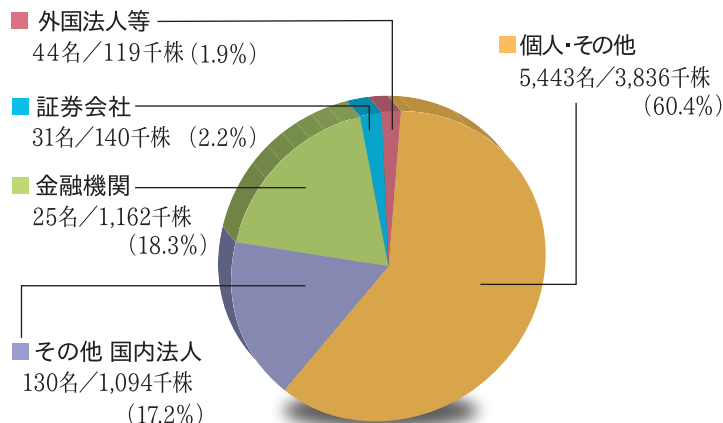
大株主

エンシュウ取引先持株会	648,890株 (10.28%)
ヤマハ発動機株式会社	645,739株 (10.23%)
浜松ホトニクス株式会社	200,000株 (3.17%)
前尾和男	186,700株 (2.96%)
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	176,800株 (2.80%)
株式会社みずほ銀行	157,267株 (2.49%)
みずほ信託銀行株式会社	145,500株 (2.30%)
株式会社りそな銀行	141,425株 (2.24%)
前尾吉信	104,400株 (1.65%)
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	97,300株 (1.54%)

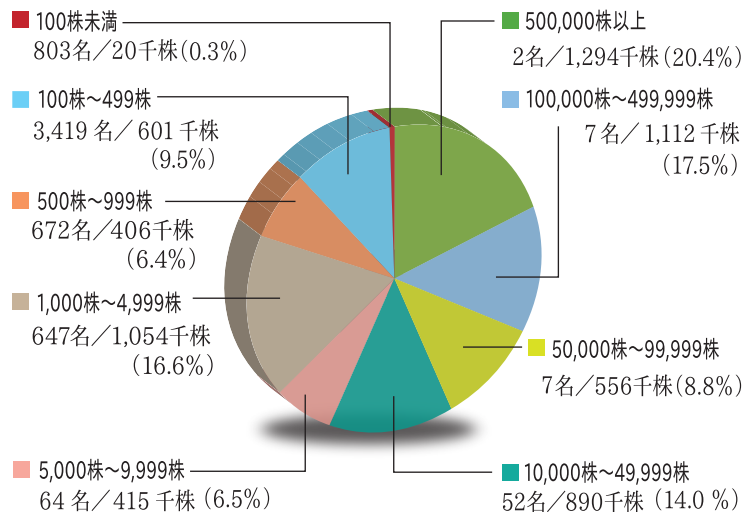
(注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

株主の構成

所有者別株式分布状況 合計: 5,673名 / 6,353千株



所有株数別分布状況 合計: 5,673名 / 6,353千株



(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

COMPANY PROFILE 会社の概況

(2019年9月30日現在)



商 号	エンシュウ株式会社 (英文 ENSHU Limited)
設 立	1920年2月5日
資 本 金	46億4,085万円
従 業 員 数	1,008名 (連結)
生 産 品 目	工作機械、輸送機器関連部品 レーザー加工機

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話053-588-0211(代)

営業部・支店

営 業 部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話053-588-4771(代)

東 京 支 店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15 (スターハイツ)
電話03-5479-1671(代)

大 阪 支 店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43 (ファサード江坂ビル)
電話06-6338-2471(代)

サービスステーション / 東北・金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION (アメリカ・シカゴ)
ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I (メキシコ・ケレタロ)

ENSHU GmbH (ドイツ・フランクフルト郊外)

ENSHU (Thailand) Limited (タイ・バンコク)

BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd. (タイ・バンコク)

PT.ENSHU INDONESIA (インドネシア・ジャカルタ)

ENSHU (QINGDAO) LIMITED (中国・青島)

ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD. (中国・青島)

ENSHU(QINGDAO) Limited Suzhou branch Office (中国・蘇州)

ENSHU INDIA PVT Ltd. (インド・グルガオン)

ENSHU VIETNAM Co.,Ltd. (ベトナム・ハノイ)

取締役体制

(2019年10月1日現在)

代表取締役社長	山 下 晴 央
代表取締役	勝 倉 宏 和
社外取締役	墨 岡 良 一
取締役 (常勤監査等委員)	中 村 泰 之
社外取締役 (監査等委員)	石 塚 尚
社外取締役 (監査等委員)	森 和 彦

執行役員体制

(2019年10月1日現在)

社長執行役員	山 下 晴 央
副社長執行役員 (兼 管理本部長)	勝 倉 宏 和
常務執行役員 (工作機械・レーザー事業部長)	鈴 木 敦 士
上席執行役員 (工作機械・レーザー事業部副事業部長)	富 田 敏 弘
上席執行役員 (工作機械・レーザー事業部副事業部長 技術部長)	鈴 木 利 夫
上席執行役員 (輸送機器事業部長)	松 永 浩 一
執行役員 (新規事業・IoT推進室室長)	内 山 浩 一
執行役員 (工作機械・レーザー事業部 営業部長)	加 藤 猛

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当の基準日	
(期末配当)	3月31日
(中間配当)	9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
	なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記載された議決権を有する株主となります。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 (https://www.enshu.co.jp/koukoku/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株式の上場	東京証券取引所市場第一部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続取扱店 (住所変更・株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

単元未満株式(1～99株)を 保有されている株主の皆様へ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から99株)を保有されている株主の皆様からの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120-288-324(フリーダイヤル)

【ご注意】
証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様へ提供しております。

ホームページアドレス <https://www.enshu.co.jp>